

# 身近な危険 階段でのケガに注意!

階段移動時の危険は、担当する作業場だけでなく、職場内または通勤中にも存在しています。今回は、その中でも特に危険な状況と注意点について紹介します。

## ⚠️ 特に危険な状況と実例

### ① 滑りやすい状況

- ▶ 水や洗剤などでぬれているとき
- ▶ 雨や雪が降っているとき
- ▶ 滑り止めまたは靴底が劣化しているとき

ぬれた階段で足を滑らせて転倒し、**太ももを打撲**



### ② 足元が見えにくい状況

- ▶ 物を運んでいるとき
- ▶ スマホ使用などの『ながら歩き』で注意力が散漫になっているとき
- ▶ 人が多く混雑しているとき

混雑した階段で足をつまづき転倒し、**左ひざを打撲**



## ● 中には思いもよらない状況から大ケガをしたケースも…

作業後、階段を降りる際に足を滑らせ、とっさに手すりをつかんだ際に右手をひねり、**右手首を骨折**



## ⚠️ 注意点まとめ

走らず、あせらず、一段ずつ

『ながら歩き』をしない

足元が見える状態をキープ

手すりがあるときは手すりを持つ



あわててケガをしないよう、時間に余裕をもって行動しましょう!  
靴底がすり減っているときは、靴を交換することも大切ですよ!

★今月の安全衛生川柳 ～ 時間に余裕をもった行動の大切さが伝わる川柳、ありがとうございます!

慌てない 急ぐ気持ち が 事故のもと (新潟支店 スタッフさんの作品)